



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 ハリマ化成グループ株式会社
 コード番号 4410 URL <http://www.harima.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 吉弘

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 金城 照夫

TEL 06-6201-2461

四半期報告書提出予定日 平成30年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	54,121	0.8	3,082	1.7	3,115	12.5	2,153	13.8
29年3月期第3四半期	53,704	△12.9	3,032	43.8	2,769	△8.7	1,891	19.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,784百万円 (316.3%) 29年3月期第3四半期 668百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	82.99	—
29年3月期第3四半期	72.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	70,742	35,992	47.7
29年3月期	67,352	33,813	47.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 33,745百万円 29年3月期 31,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
30年3月期	—	11.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,500	1.6	3,850	△3.1	3,850	△2.1	2,350	△2.9	90.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	26,080,396 株	29年3月期	26,080,396 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	132,236 株	29年3月期	132,049 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	25,948,274 株	29年3月期3Q	25,948,479 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
参考資料	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の景気は回復が続き、欧州の景気は緩やかに回復しました。中国の景気は、各種政策効果もあり、持ち直しの動きがみられました。

一方、日本経済は、雇用、企業収益が改善し、設備投資も緩やかに増加しました。

このような中、当社グループは前期よりスタートしました、3ヵ年の中期経営計画『NEW HARIMA 2018』の2年目に入り、更なる事業の成長に取り組んでいます。

当社グループの海外事業は、欧米を主力市場とするローター社の売上高は、原材料価格の下落による販売価格の修正、競合他社との販売競争による販売数量減があり、前年同四半期に比べ減少しました。しかしながら、コスト削減等により、利益面は増加しました。

国内事業は、売上高は前年同四半期比増加し、利益面も前年同四半期に比べ増加しました。

その結果、当社の当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は541億2千1百万円となり、前年同四半期に比べ4億1千6百万円(0.8%)の増収となりました。

利益面では、営業利益は30億8千2百万円となり、前年同四半期に比べ5千万円(1.7%)の増益となりました。経常利益は31億1千5百万円となり、前年同四半期に比べ3億4千6百万円(12.5%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億5千3百万円となり、前年同四半期に比べ2億6千1百万円(13.8%)の増益となりました。

当社グループの部門別経営成績の概況は次の通りであります。

① 樹脂化成品

印刷インキ業界、塗料業界の生産量は前年同四半期並みとなりました。

当部門におきましては、塗料用樹脂は、建築・外装用塗料向けが堅調に推移し、前年同四半期に比べ売上高は増加しました。また、印刷インキ用樹脂は、新規商品の採用等があり、売上高は増加しました。

その結果、当部門の売上高は、143億4千万円となり、前年同四半期に比べ5億3千4百万円(3.9%)の増収となりました。当部門の営業利益は8億6千8百万円と前年同四半期に比べ2億4千万円(38.3%)の増益となりました。

② 製紙用薬品

国内の製紙業界は、板紙の生産量が前年同四半期に比べ増加し、印刷情報用紙は横ばいでした。当部門の海外事業は、米国、中国を主な市場にしていますが、米国では、印刷情報用紙の需要が減少する一方、板紙の需要が増加し、紙・板紙生産量は、前年同四半期対比で横ばいとなりました。また、中国の紙・板紙生産量は、増加しました。

当部門におきましては、国内および中国の売上高は前年同四半期に比べ増加しましたが、米国の売上高は前年同四半期に比べ減少しました。

その結果、当部門の売上高は、124億7千2百万円となり、前年同四半期に比べ2億9千8百万円(2.5%)の増収となりました。また、当部門の営業利益は、中国子会社での主原材料値上がりによる利益率低下により、10億8千3百万円と前年同四半期に比べ1億4千3百万円(△11.7%)の減益となりました。

③ 電子材料

当部門が主に関連する自動車業界の販売台数は、前年同四半期に比べ国内、欧州、中国では順調に増加したものの、米国ではほぼ横ばいとなりました。

当部門におきましては、溶ダペースト、自動車熱交換器用のろう付け材料および半導体用機能性樹脂などの販売が増加し、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

その結果、当部門の売上高は、42億3千4百万円となり、前年同四半期に比べ2億5千1百万円(6.3%)の増収となりました。当部門の営業利益は2億9千4百万円と前年同四半期に比べ9千6百万円(49.2%)の増益となりました。

④ ローター

当部門の主要製品である粘接着剤用樹脂は、前年同四半期に比べ販売数量は前年並みとなりましたが、売上高は、前年同四半期に比べ増加しました。

一方、印刷インキ用樹脂は、情報のデジタル化を背景として世界的に需要が低迷して、製品の販売価格競争も激化しており、販売数量は前年同四半期に比べ減少したことにより、売上高は減少しました。

また、利益面では、引き続き、合理化、コスト削減により、前年同四半期に比べ増加しました。

その結果、当部門の売上高は、218億4千6百万円で、前年同四半期に比べ5億5千1百万円(△2.5%)の減収となりました。当部門の営業利益は10億1千2百万円と前年同四半期に比べ8千万円(8.6%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前期末に比べ33億9千万円の増加となりました。自己資本比率は47.7%となりました。増減の主なもの、流動資産では現金及び預金が7千4百万円減少し、受取手形及び売掛金が22億5千9百万円増加し、原材料及び貯蔵品が5億5百万円増加しました。負債では短期借入金が67億2百万円増加し、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)は返済及び為替の影響により58億円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済は、緩やかながらも回復すると見込まれますが、米国の金融政策正常化の影響、中国を始めアジア新興国等の経済の動向、政策に関する影響など、先行きが不透明な状況が続いています。日本経済においては、所得や雇用の改善により緩やかな回復傾向にあるものの、当社グループにおきましては、為替変動などによる不透明な事業環境が続くことが見込まれます。

当社グループは2016年度を初年度とする中期経営計画『NEW HARIMA 2018』の目標である2018年度の売上高1,000億円、営業利益60億円、ROE(自己資本当期純利益率)8.0%の達成に向けた重点施策を引き続き推進してまいります。

2017年度は、グローバルに展開する拠点網を活かした新製品の展開加速、事業規模の拡大と新技術の獲得、品質面および価格面での競争力向上などに取り組みます。

なお、当期(2017年4月1日から2018年3月31日)の通期の業績予想につきましては、2017年10月30日の第2四半期決算発表時の公表数字を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,113,069	4,038,810
受取手形及び売掛金	17,931,234	20,190,257
商品及び製品	5,379,840	5,465,836
原材料及び貯蔵品	5,589,978	6,095,597
その他	2,213,208	2,228,510
貸倒引当金	△108,835	△118,717
流動資産合計	35,118,496	37,900,295
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,390,910	9,222,103
その他(純額)	13,420,430	13,331,634
有形固定資産合計	22,811,341	22,553,737
無形固定資産		
その他	931,497	930,859
無形固定資産合計	931,497	930,859
投資その他の資産		
投資有価証券	7,206,578	8,156,851
その他	1,287,889	1,204,078
貸倒引当金	△3,219	△2,935
投資その他の資産合計	8,491,249	9,357,994
固定資産合計	32,234,088	32,842,591
資産合計	67,352,585	70,742,887

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,348,049	8,443,910
短期借入金	4,759,030	11,461,970
1年内返済予定の長期借入金	632,980	2,704,416
未払法人税等	463,801	230,622
役員賞与引当金	76,910	53,890
その他	3,274,673	3,593,657
流動負債合計	17,555,443	26,488,467
固定負債		
長期借入金	10,484,228	2,612,352
長期預り保証金	741,081	738,381
役員退職慰労引当金	404,576	397,821
退職給付に係る負債	1,028,221	958,519
資産除去債務	48,294	48,551
その他	3,277,688	3,506,719
固定負債合計	15,984,090	8,262,345
負債合計	33,539,534	34,750,813
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,743,959	9,743,959
利益剰余金	11,366,324	13,000,701
自己株式	△62,436	△62,609
株主資本合計	31,060,799	32,695,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,735,420	2,382,439
為替換算調整勘定	△971,716	△1,167,400
退職給付に係る調整累計額	△175,949	△164,042
その他の包括利益累計額合計	587,754	1,050,996
非支配株主持分	2,164,497	2,246,075
純資産合計	33,813,050	35,992,074
負債純資産合計	67,352,585	70,742,887

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年 4月 1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年 4月 1日 至 2017年12月31日)
売上高	53,704,279	54,121,181
売上原価	40,786,576	41,208,236
売上総利益	12,917,703	12,912,944
販売費及び一般管理費	9,885,008	9,830,193
営業利益	3,032,695	3,082,750
営業外収益		
受取利息	47,834	28,805
受取配当金	69,277	203,743
不動産賃貸料	87,156	86,448
その他	135,430	231,933
営業外収益合計	339,700	550,930
営業外費用		
支払利息	239,731	207,741
為替差損	272,544	199,808
その他	90,594	110,199
営業外費用合計	602,870	517,749
経常利益	2,769,524	3,115,932
特別利益		
投資有価証券売却益	—	57,952
特別利益合計	—	57,952
特別損失		
減損損失	12,270	—
特別損失合計	12,270	—
税金等調整前四半期純利益	2,757,254	3,173,884
法人税、住民税及び事業税	562,864	702,108
法人税等調整額	96,863	166,625
法人税等合計	659,727	868,734
四半期純利益	2,097,526	2,305,149
非支配株主に帰属する四半期純利益	205,711	151,807
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,891,814	2,153,342

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年 4月 1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年 4月 1日 至 2017年12月31日)
四半期純利益	2,097,526	2,305,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	604,905	646,988
為替換算調整勘定	△2,344,992	△180,286
退職給付に係る調整額	311,201	12,215
持分法適用会社に対する持分相当額	54	30
その他の包括利益合計	△1,428,830	478,947
四半期包括利益	668,695	2,784,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	764,244	2,616,585
非支配株主に係る四半期包括利益	△95,548	167,512

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 2016年4月1日 至 2016年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	13,806,129	12,173,902	3,982,227	22,398,400	52,360,660	1,313,527	53,674,188	30,091	53,704,279
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	194,895	188,563	—	103,529	486,988	103,608	590,597	△590,597	—
計	14,001,025	12,362,466	3,982,227	22,501,930	52,847,649	1,417,136	54,264,786	△560,506	53,704,279
セグメント利益	627,979	1,227,590	197,208	931,720	2,984,498	8,735	2,993,234	39,461	3,032,695

II 当第3四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	14,340,665	12,472,455	4,234,109	21,846,602	52,893,832	1,251,236	54,145,069	△23,888	54,121,181
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	170,615	117,302	—	113,723	401,641	104,424	506,065	△506,065	—
計	14,511,280	12,589,758	4,234,109	21,960,325	53,295,473	1,355,661	54,651,135	△529,954	54,121,181
セグメント利益	868,214	1,083,640	294,152	1,012,038	3,258,046	3,016	3,261,062	△178,311	3,082,750

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額は、棚卸資産の調整額等が含まれております。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

2018年3月期 第3四半期決算短信
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2017/3期		2018/3期	
	第3四半期(実績)	通期(実績)	第3四半期(実績)	通期(計画)
連結	13.9億円	20.2億円	11.8億円	20.0億円

2. 減価償却実施額

	2017/3期		2018/3期	
	第3四半期(実績)	通期(実績)	第3四半期(実績)	通期(計画)
連結	15.1億円	20.3億円	14.2億円	20.0億円

3. セグメント別売上高

	2017/3期		2018/3期	
	第3四半期(実績)	通期(実績)	第3四半期(実績)	通期(計画)
樹脂化成品	138.0億円	182.8億円	143.4億円	187.0億円
製紙用薬品	121.7億円	162.0億円	124.7億円	172.0億円
電子材料	39.8億円	53.2億円	42.3億円	57.0億円
ローター	223.9億円	298.5億円	218.4億円	294.0億円
その他	13.1億円	16.8億円	12.5億円	15.0億円
調整額	0.3億円	0.2億円	△0.2億円	-
合計	537.0億円	713.8億円	541.2億円	725.0億円

4. 海外売上高

	2017/3期		2018/3期	
	第3四半期(実績)		第3四半期(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	113.5億円	21.1%	113.9億円	21.1%
欧州	101.0億円	18.9%	97.9億円	18.1%
アジア、オセアニア	91.9億円	17.1%	94.6億円	17.4%
合計	306.6億円	57.1%	306.5億円	56.6%